

研究実施のお知らせ

2024年5月22日 ver.1.1

1. 研究課題名

減塩を促進する多面的地域介入が中高年者の食塩摂取量および減塩行動に与える効果：
準実験的研究

2. 研究の対象となる方

2021年4月から2024年3月までの間に、島根県雲南保健所、島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター、雲南市健康福祉部が実施する減塩推進活動並びに雲南市集団特定健診の調査に参加した雲南市民（大東町幡屋地区在住の20歳以上住民（447人）、雲南市集団特定健診受診者（40歳以上）（479人））

3. 研究の目的・意義

本研究の目的は、雲南市大東町幡屋地区で実施した減塩を促進する多面的地域介入が、中高年者の食塩摂取量および減塩行動に与える効果を検証することです。本研究では、島根県雲南保健所、島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター、雲南市健康福祉部から提供を受けたデータをもとに分析を行い、得られた知見をフィードバックする予定です。したがって、健康政策に役立つ基礎データとなり、地域保健活動の取り組みを通じて、地域住民へ間接的に波及することが期待できます。

4. 研究の方法

2021年4月から2024年3月の間に島根県雲南保健所、島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター、雲南市健康福祉部が集約している既存情報をもとに、減塩を促進する多面的地域介入が、中高年者の食塩摂取量および減塩行動に与える効果を調べます。本研究は、身体教育医学研究所うなん研究倫理委員会の承認を受け、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」に従って、個人が特定できないように氏名と生年月日を削除し、研究用のIDを付与した情報を用いて行います。そのため、研究の説明や同意等のインフォームド・コンセントの手続きを省略します。個人情報、島根県雲南保健所、島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター、雲南市健康福祉部内のパソコンで、個人が特定できる情報を加工・削除した情報を使用するため、個人が特定される心配はありません。データは、パスワード付きの光ディスクの記録メディアに保管して、手渡しにより提供を受けるか、雲南市役所の施設内で分析を行います。提供を受けたデータの分析は、雲南市健康福祉部身体教育医学研究所うなんにおいて行います。

なお、本研究で使用する情報は、性別、年齢、体重、尿中塩分量（スポット尿による塩分摂取量の測定から得られる）、主観的減塩行動（塩分チェックシートへの回答から得られる）、

降圧薬服用の有無です。

5. 研究の期間

2024年5月（研究許可後）～2025年3月31日まで

6. 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

7. 研究組織

この研究は次の機関が共同で行います。

研究責任者

雲南市健康福祉部身体教育医学研究所 うんなん 北湯口純

研究分担者

身体教育医学研究所 うんなん 研究員 宮下拓麻

雲南市健康福祉部健康推進課 課長 土屋悦子

雲南市こども政策局こども家庭支援課 主幹保健師 板垣美由紀

既存の情報の提供のみを行う機関

[提供機関] [機関の長] ・ [提供担当者]

島根県雲南保健所 柳樂真佐実

島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター 磯村 実

雲南市健康福祉部 糸原幸子

8. 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。なお、利用停止のお申し出は、島根県雲南保健所へ2024年12月末までお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

9. 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをご存知になりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

雲南市健康福祉部身体教育医学研究所 うんなん 北湯口純

〒699-1105 島根県雲南市加茂町宇治 328

電話/FAX：0854-49-9050/7050

提供機関：

島根県雲南保健所

〒699-1311 島根県雲南市木次町里方 531-1

電話/FAX：0854-42-9623/9654

島根大学研究・学術情報本部地域包括ケア教育研究センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 223-8

電話/FAX：0853-20-2586

雲南市健康福祉部

〒699-1392 島根県雲南市木次町里方 521-1

電話/FAX：0854-40-1040/1049